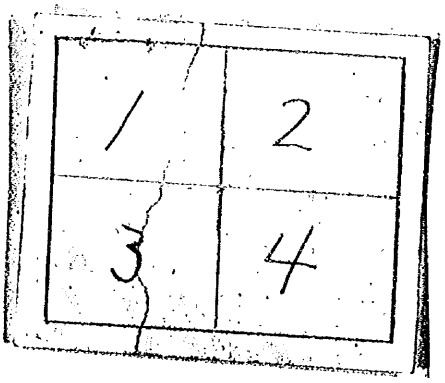
分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A3判以上のため

上記のとおり分割撮影した事を証明する。

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

175
176
174
173

第五軍第一二四師團工兵隊

郵便所名

通稱號 滿六三三
建謀一五三六

全般概要	轉入 十九年以降	轉出 十九年以降	編制人員 隊別	隊長名 (　)内は先代を示す	開戰時員 人員	駐屯地 平時	駐屯地 戰時	戰斗間の狀況及損耗	終戰後の人員變動	作業大隊より入「ソ」迄の變動	入「ソ」入員 隊別	入「ソ」入員 計	滿洲殘留
人員内譯 少佐一、兵二〇四、將校四 行李二八、准尉一、北支二〇、准下二八、計二八六			本部	少佐 内田龜夫		穆稜							
二〇、二、二〇、第一、二中隊は現五隊十二聯隊に於て編成完結（一八〇名位）			第一中隊										
二〇、六、二〇、愛陽に三〇名殿留主力は穆稜附近に陣地構築 本部は穆稜に位置し、今村少尉以下三〇〇名は「小豆山」にて陣地構築中開戰になり、八、九、夜、内田少佐以下三〇名穆稜より「小豆山」に來り監督指揮す 翌二〇聯隊より二ケ中隊隸屬さる 自八、九、至八、一四、穆稜一編山附近でソ軍機甲部隊と交戰村上見習士官以下二〇名村尾軍曹以下二〇名を夜攻撃として派遣せるも生還せず 部隊は約三分の一位戰死せる模様			第二中隊									
二〇、八、一四、一五 敵來攻内田少佐以下五〇名代尾碕（向ふ、戰死一〇〇名、生存不明三〇〇名			第三中隊	中尉 棟形千代治									

228（20.1.16編成）

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

團部隊名 第一二四師團工兵隊

通稱號 滿六三三
遠隔 一五二六

郵便所名

228 (20.1.16編成)

出以降編制人員	隊別	隊長名 (()内は先代を示す	關人戰時員	駐屯地 平時	駐屯地 戰時	戰斗間の狀況及損耗	終戰後の人員變動	作業大隊より入「ソ」迄の變動	入「ソ」人員 隊別	入「ソ」人員 計	滿洲殘留	收容所 收容所名	收容所 所員死亡	歸還人員 滿洲より	歸還人員 「ソ」領より	歸還人員 計	狀況不明者數
	本部	少佐 内田龜夫		穆棱								ゴムソモリスク					
	第一中隊																
	第二中隊																
	第三中隊	中尉 横形千代治															

二〇、八、二三、拿安で武装後東京城に敢進（内田少佐以下五〇名今村少佐以下一一名合流）東京城に於て作業第二七〇大隊を編成入「ソ」長　小松崎中尉

二〇、八、一四、一五
敵陣攻内田少佐以下五〇名代馬溝へ向ふ、戦死一〇〇名、生存不明三〇〇名

228（20.1.16編成）

第四中隊	第三中隊	第二中隊	第一中隊	
少尉　今村　秀男	中尉　槻形千代治			

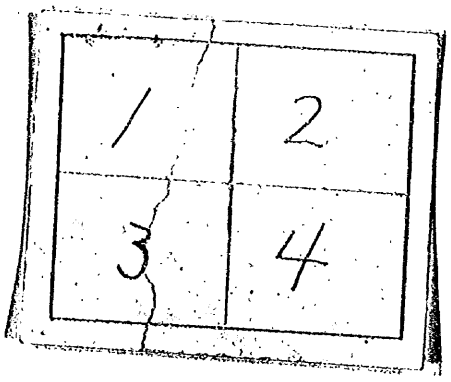
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

228 (20.1.16編成)

隊中四第	隊中三第	隊中二第	隊中一第
少尉 今村秀男	中尉 樓形千代治		

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A3判以上のため

上記のとおり分割撮影した事を証明する。

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

1179
1180
1181
1182

所屬 第五軍第一二四師團部隊名 第一二四師團工兵隊

通稱號 滿遠謀六三一五三三六

郵便所名

全般概要	轉入 十九年以降	轉出 十九年以降	編制人員	隊別	第五中隊	器材小隊
			隊長名 ()内は先代を示す			
			開戰時員			
			駐屯地 平時			
			駐屯地 戰時			
			戰斗間の狀況及損耗			
			終戰後の人員變動			
			作業大隊より入「ソ」迄の變動			
			入「ソ」人員 隊別			
			入「ソ」人員 計			
			滿洲殘留			
			收容所別			

国立公文書館アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

師團部隊名 第一二四師團工兵隊

通稱號 滿遠謀一五二二六三三

郵便所名

出	編制員		
隊別	第五中隊	器材小隊	
隊長名（）内は先代を示す			
開戰時員			
駐屯地 平時			
駐屯地 戰時			
戰斗間の狀況及損耗			
終戰後の人員變動			
作業大隊より入「ソ」迄の變動			
入「ソ」人員 隊別			
入「ソ」人員 計			
滿洲殘留			
收容所 收容所名			
收容所 所人員			
收容所 死亡			
歸還人員 滿洲より			
歸還人員 「ソ」領より			
歸還人員 計			
狀況不明者數			

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

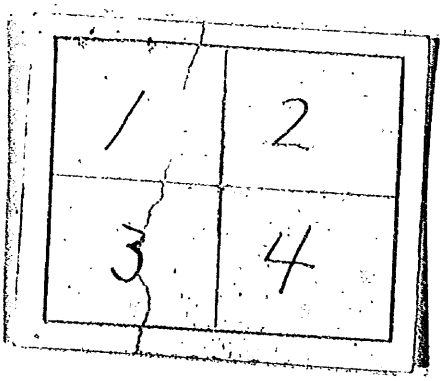
豫小材器　　正　　三

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

	豫小材器	豫本三分

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A 3 判以上のため

上記のとおり分割撮影した事を証明する。

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第五軍第一二四師團通信隊

隊名 第一二四師團通信隊　　通稱號 滿七四遠謀一五二二七六　　郵便所名

全般概要	轉入 十九年以降	轉出 十九年以降	編制人員 隊別	本部	有線第一小隊	有線第二小隊	無線小隊
二〇、六、五、綏陽より移駐に移動陣地構築 自二〇、八、一〇 至二〇、八、一四 磐斗實施 鐵道 三 亀荒下駅 一 二〇、八、二五、寧安に移駐 二〇、八、二六、同地に於て實施、九月中旬綏芬河駐屯「コムソモリスク」に收容 捷清に實施延吉に移駐後、「ネープルスカヤ」に收容せられたるものあり 二〇、九、上旬、羅津港に於て作業隊二七〇大隊を編成 大隊長 小松崎中尉			隊長名 (　)内は先代を示す	大尉 吉澤 益雄 (中尉 有吉 峰雄)			
			編制人員 戰時				
			駐屯地 平時	綏陽			
			駐屯地 戰時				
			戰斗間の狀況及損耗				
			終戰後の人員變動				
			作業大隊より入「ソ」迄の變動				
			入「ソ」人員 隊別				
			計				
			滿洲殘留				

207 (20.1.16編成)

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

部隊名 第二二四師團通信隊

郵便所名

通稱號 滿遠謀一七四六五二二七

207 (20.1.16編成)

隊別	隊長名 (()内は先代を示す)	駐屯地 平時	駐屯地 戰時	戰斗間の狀況及損耗	終戰後の人員變動	作業大隊より入「ソ」迄の變動	入「ソ」人員 隊別	入「ソ」人員 計	滿洲殘留	收容所 收容所名	收容所 所人員	收容所 死亡	歸還人員 滿洲より	歸還人員 「ソ」領より	歸還人員 計	狀況不明者數
本部	大尉 言澤 益雄 (中尉 有吉 峰雄)	綏陽								コムソモリスク ネーブルスカヤ						
有線第一小隊																
有線第二小隊																
無線小隊																

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

二〇、八、二三、ボゴに移動

二〇、八、二六、同地に於て武解、九月中旬錫蘭河経由「コムソモリスク」に収容

汪清に武解延吉に移送後、「ネープルスカヤ」に収容せられたるものあり

二〇、九、上旬、防疫柵に於て作業第二七〇大隊を編成

大隊長　小松崎中尉

207 (20.1.16編成)

本部	有線第一小隊	有線第二小隊	無線小隊	本部

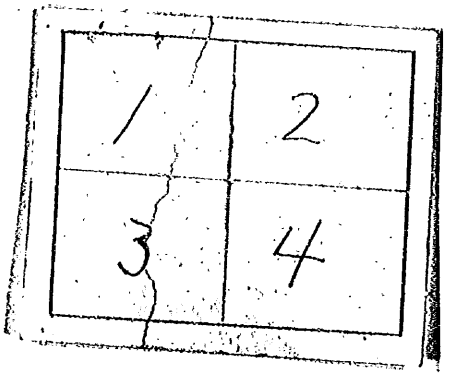
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

207 (20.1.16編成)

李行	豫小線無	豫小二第線有	豫小一第線有	摘要

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A3判以上のため

上記のとおり分割撮影した事を証明する。

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

所属 第五軍第一二四師團輜重隊

通稱號 滿五五六 極秘 一五二二八

郵便所名

全般概要	轉入 十九年以降	轉出 十九年以降	編制員	隊別	隊長名 (）内は先代を示す	開戰時員	駐屯地 平時	駐屯地 戰時	戰斗間の狀況及損耗	終戰後の人員變動	作業大隊より入「ソ」迄の變動	入「ソ」人員 隊別	入「ソ」人員 計	滿洲殘留	收容所
二〇、六、二四、陣地構築のため綏西より私段に移動 二〇、八、九、ソ軍機來襲により開戰を知る 一、二中隊は代馬溝に至り專業繼續 八、一〇、代馬溝に於て自殺一名 八、一一、草驛ソ軍戰車來襲に伴ひ繼續不能となり、開墾により牡丹江に向ふ途中「パトラーズ」に於て牡丹江敵手に入りたるを知り機關銃兩子を殺て吉林に向ふ 八、一九、敦化附近に於て貨餘 九、二一、東京城に收容 九、二二、羅南飛行場に移動 九、二五、牡丹江に爾後不詳 二〇、九、作業二七〇大隊に編入（長 小松崎中尉）被服一般等河經由（コムソモリスク）へ			882 (20.1.16編成)	本部	少佐 中島 正彥 副官 大尉 野呂田									
				第一中隊（馬輓）	中尉 山上 榜三				代馬溝にて戰斗、井口中尉は同地に於て戰死？ 中隊は小隊毎に分散内約二〇名は昭二〇、八、二〇、敦化で武解 九月中旬、牡丹江に移動						
				第二中隊（馬輓）	中尉 井口 正夫										
				第三中隊	中尉 小松崎八郎	113			二〇、八、八、綏西より移動に際し彈藥能の五十名は移動に於て陣地構築 二〇、八、十一、代馬溝にて彈藥搬送中敵戰車と交戰、自動車二ケ小隊は牡丹江に轉進 二〇、八、二四、中隊長以下徒歩一ケ小隊（四五名）は司令部と合流東安に於て武解						

九月中旬牡丹江に於て作業二四三大隊を編成

タイセット一一八收容所

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

師團部隊名　第二四師團輜重隊

通稱號　滿遠謀一五五二二八六

郵便所名

882 (20.1.16編成)

出征以降 編制人員	隊別	隊長名 (　)内は先代を示す	開戰時員	駐屯地 平時	駐屯地 戰時	戰斗間の狀況及損耗	終戰後の人員變動	作業大隊より入「ソ」迄の變動	入「ソ」人員	滿洲殘留	收容所 收容所名	收容所 所員	收容所 死亡	歸還人員 滿洲より	歸還人員 「ソ」領より	歸還人員 計	狀況不明者數
	本部	少佐 中島 正彦 副官 大尉 野呂田							除別	計	ネーブルスカヤ コムソモリスク						
	第一中隊(騾馬)	中尉 山上 柳三															
	第二中隊(騾馬)	中尉 井口 正夫				代馬溝にて戰斗、井口中尉は兩地に於て戰死？中隊は小隊毎に分散宵に分散約二〇名は昭二〇、八、二〇、變化で武解九月中旬、牡丹江に移動					タイセット 一一八收容所						
第三中隊(自)	中尉 小松崎八郎		113			二〇、八、八、綏西より移殺に彈藥他の五十名は移殺に於て陣地構築 二〇、八、十一、代馬溝にて彈藥奪取中敵戰車と交戰、自動車二ケ小隊は牡丹江に轉進 二〇、八、二四、中隊長以下徒歩一ケ小隊(四五名)は司令部と合流寧安に於て武解											

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

八、一一、早朝ソ軍機甲来襲に伴い輸送不能となり、徒歩により牡丹江に向ふ途中「ペトラェフ」に於て牡丹江敵手に入りたるを知り横道河子を経て吉林に向ふ

八、一〇、[illegible]に於て[illegible]

八、一九、敦化附近に於て武解

九、二一、東京城に駐留

九、二二、蘭崗飛行場に移動

九、二五、牡丹江に爾後不詳

二〇、九、作業二七〇大隊に編入（長 小松崎中尉）

撤所—綏芬河経由（コムソモリスク）へ

882 (20.1.16編成)

本部	第一中隊（騎馬）	第二中隊（騎馬）	第三中隊（自動車）	第四中隊（自動車）
少佐 [illegible] 大尉 [illegible]	中尉 山上 柳三	中尉 井口 正夫	中尉 小松崎八郎	
			113	
		代馬溝にて戦斗、井口中尉は同地に於て戦死。中隊は小隊毎に分散更に分散内約二〇名は昭二〇、八、二〇、敦化で武解 九月中旬、牡丹江に移動	二〇、八、八、綏西より綏芬に輸送隊の五十名は綏芬に於て陣地構築 二〇、八、十一、代馬溝にて輸送隊中隊戦車と交戦、自動車二ケ小隊は牡丹江に帰着 二〇、八、二四、中隊長以下徒歩一ケ小隊（四五名）は司令部と合流事実に於て武解	

九月中旬牡丹江に於て作業

二四三大隊を編成

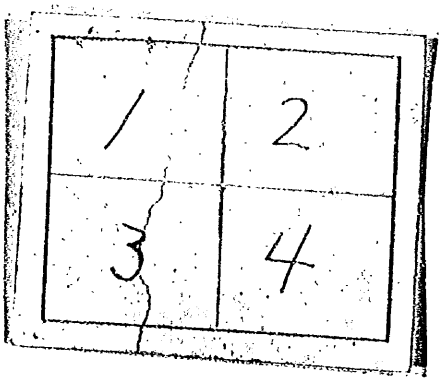
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

ソ連スカ[illegible]
モスクワ[illegible]
ハ敗容所
タセット

882 (20.1.16編成)

本部	第一中隊（馬橇）	第二中隊（馬橇）	第三中隊（自動車）	第四中隊（自動車）
少佐 [illegible] [illegible]	中尉 山上 柳三	中尉 井口 正夫	中尉 小松崎八郎	
			113	
		代馬溝にて戦斗、井口中尉は珂地に於て負死？ 中隊は小隊毎に分離更に分散内約二〇名は昭二〇、八、二〇、敦化で武解 九月中旬、牡丹江に移動	二〇、八、八、綏西より綏陵に集結他の五十名は綏陵に於て陣地構築 二〇、八、十一、代馬溝にて軍需品最中敵戦車と交戦、自動車二ケ小隊は牡丹江に輸送 二〇、八、二四、中隊長以下徒歩一ケ小隊（四五名）は司令部と合流事安に於て武解	

分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A 3 判以上のため

上記のとおり分割撮影した事を証明する。

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

1191
1192
1193
1194

第五軍第一二四師團兵器勤務隊

郵便所名

通稱號 遠謀一三九九一

歴史	全般概要	転入 十九年以降	転出 十九年以降	編制人員	隊別	隊長名 (　)内は先代を示す	開戦時員	駐屯地 平時	駐屯地 戦時	戦斗間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入「ソ」迄の變動	入「ソ」人員 隊別	入「ソ」人員 計	滿洲殘留	收容者
	終戦後部隊は牡丹江に行き全滅するなく爲に部隊より逃亡者續出したため八、三〇隊長は解散命令を出した	二〇、五、三一 一二四師團司令部 三二 二〇、五、三一 歩二七一聯 一七 二〇、五、三一 歩二七二聯 一七 二〇、五、三一 歩二七三聯 一七 其の他 五		112名 (20.5.1編成)		中尉 星野 猛		綏陽		二〇、八、一四、戦死一名						

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

部隊名 第一二四師團兵器勤務隊

通稱號 遠謀一三九九一

郵便所名

編制人員	112名（20.5.1編成）
隊別	
隊長名（）内は先代を示す	中尉 星野 猛
開戰時員	
駐屯地 平時	綏陽
駐屯地 戰時	
戰斗間の狀況及損耗	二〇、八、一四、戰死一名
終戰後の人員變動	
作業大隊より入「ソ」迄の變動	
入「ソ」人員 隊別	
入「ソ」人員 計	
滿洲殘留	
收容所 收容所名	
收容所 所員	
收容所 死亡	
歸還人員 滿洲より	
歸還人員 「ソ」領より	
歸還人員 計	
狀況不明者數	

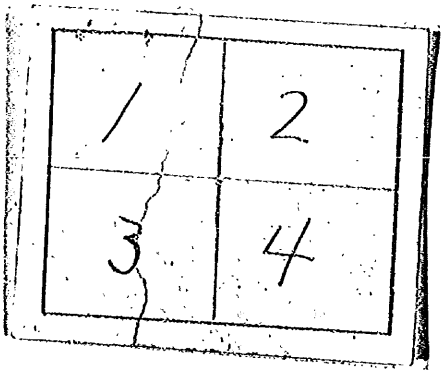
国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

| | | |

112名（20.5.1編成）

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A3判以上のため

上記のとおり分割撮影した事を証明する。

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

1193
1196
1197
1198

所屬 第五軍第一二四師團 隊名 第一二四師團衛生隊

通稱號 遠謀一五二八

郵便所名

全般概要	轉入 十九年以降	轉出 十九年以降	編制員	隊別	隊長名 (）内は先代を示す	開戰時員	駐屯地 平時	駐屯地 戰時	戰斗間の狀況及損耗	終戰後の人員變動	作業大隊より入「ソ」迄の變動	入「ソ」人員 隊別	入「ソ」人員 計	滿洲殘留
			1000名 (20.8.10編成)											

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

部隊名 第二二四師團衛生隊　　通稱號 遠謀一五二二八　　郵便所名

1000名（20.8.10編成）

編制人員	隊別	隊長名（）内は先代を示す	編人 戰時員	駐屯地 平時	駐屯地 戰時	戰斗間の狀況及損耗	終戰後の人員變動	作業大隊より入「ソ」迄の變動	入「ソ」人員 隊別	入「ソ」人員 計	滿洲殘留	收容所 收容所名	收容所 所人員	收容所 死亡	歸還人員 滿洲より	歸還人員 「ソ」領より	歸還人員 計	狀況不明者數

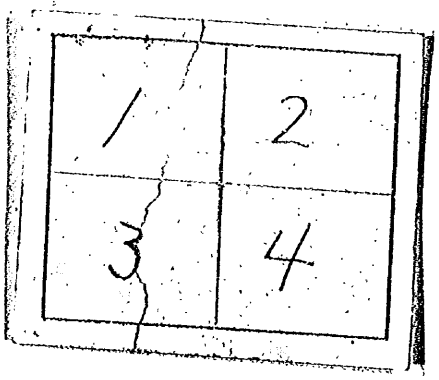
1000名（20.8.10編成）

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

1000名（20.8.10編成）

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A3判以上のため

上記のとおり分割撮影した事を証明する。

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

所屬 第五軍第一二四師團第一野戰病院　通稱號 遠謀一五二一九　郵便所名

全般概要	轉入 十九年以降	轉出 十九年以降	編制員	隊別	隊長名 (　)内は先代を示す。	開人戰時員	駐屯地 平時	駐屯地 戰時	戰斗間の狀況及損耗	終戰後の人員變動	作業大隊より入「ソ」迄の變動	入「ソ」入員 隊別	入「ソ」入員 計	滿洲殘留	收容
興亞塩　牡丹江 二〇、八、八、第一二〇師團野戰病院となり、第一二四師團野戰病院となり、未だ病院開設に至らずして移轉に向ひ行動開始 八、一一、馬頭石にて病院開設 八、一二、代馬溝にて病院開設「ソ」軍戰車約七輛の攻撃を受け病院分散 八、一四、生存者約一五〇名、牡丹江に集結 八、一五～一八、横道河子に轉進 八、一八、横道河子にて武裝解除			300名（20.8.10編成）		軍醫大尉　森本　明			綏南							ウスリー地區收容所

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第一二四師團第一野戰病院

遠謀一五二一九

郵便所名

出征以降	編制人員	300名（20.8.10編成）
	隊別	
隊長名（）内は先代を示す		軍醫大尉 森本 明
駐屯地	留守人員	
	平時	
	戰時	綏南
戰斗間の狀況及損耗		
終戰後の人員變動		
作業大隊より入「ソ」迄の變動		九、二〇、第一七作業大隊に編入 一〇上旬「トラツク」にて拉古出發、グロデゴー經由興凱湖畔ウスリー地區に到る
入「ソ」人員	隊別	
	計	
滿洲殘留		
收容所	收容所名	ウスリー地區收容所
	所員人	
	死亡	
歸還人員	滿洲より	
	「ソ」領より	
	計	
狀況不明者數		

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

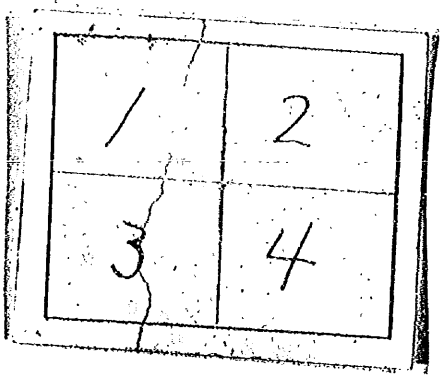
300名（20.8.10編成）

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

300名（20.8.10編成）

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A3判以上のため

上記のとおり分割撮影した事を証明する。

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

1203
1204
1205
1206

所屬	第五軍第一二四師團第四野戰病院	通稱號	遠謀一五二二〇	郵便所名

全般概要	轉入 十九年以降	轉出 十九年以降	編制員	隊別	隊長名 (　)内は先代を示す	開戰時員	駐屯地 平時	駐屯地 戰時	戰斗間の狀況及損耗	終戰後の入員變動	作業大隊より入「ソ」迄の變動	入「ソ」入員 隊別	入「ソ」入員 計	滿洲殘留	收容
			350名 (20.8.10編成)												

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

350名（20.8.10編成）

除名	郵便所名	通稱號	編制員入	除別	隊長名（）内は先代を示す	開戰時員入	平時	戰時	註屯・地	戰斗間の狀況及損耗	終戰後の人員變動	作業大隊より入「ソ」迄の變動	入「ソ」人員 除別	計	滿洲殘留	收容所 收容所名	所員入	死亡	歸還人員 滿洲より	「ソ」領より	計	狀況不明者數
第一二四師團第四野戰病院		遠謀一五二二〇																				

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

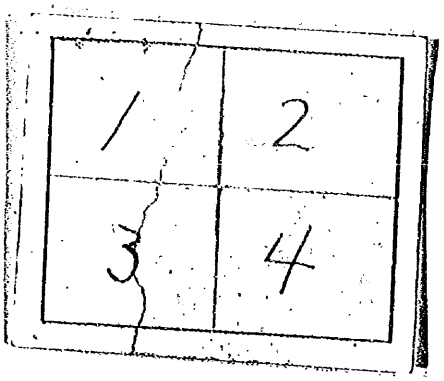
350名（20.8.10編成）

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

350名（20.8.10編成）

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A3判以上のため

上記のとおり分割撮影した事を証明する。

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第五軍第一二四師團病馬廠

通稱號 滿六四八 遠課一五二二九八

郵便所名

隊名	全般概要	轉入 十九年以降	轉出 十九年以降	編制人員	隊別	隊長名	開戰時員	駐屯地 平時	駐屯地 戰時	戰斗間の狀況及損耗	終戰後の人員變動	作業大隊より入「ソ」迄の變動	入「ソ」人員 隊別	入「ソ」人員 計	滿洲殘留	收容所名
	二〇、二より綏西に駐屯、六月穆陵陣地構築のため、穆陵支廠設置（約四〇名） 八、一一、穆陵に移動、穆陵支廠を撤收、牡丹江に向ひ出發 途中、馬刀石附近にて「ソ」軍戰車の攻擊を受け約三〇名行方不明 八、一七、興隆河子に約四〇名集結 八、一八、同地で武裝解除 八、二〇、拉古に收容 九月初旬海林に移動 一〇月下旬海林出發、爾後の行動不明			119名（20.1.16編成）		中尉 福澤 義雄		綏西 穆稜				一四三大隊海林編成				

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第二二四師團病馬廠

部隊名

通稱號 満遠謀 六四八 一五二二九

郵便所名

編制人員出入	119名（20.1.16編成）
隊別	
隊長名（）内は先代を示す	中尉 櫛澤義雄
開戰時員	
駐屯地 平時	
駐屯地 戰時	綏西 穆棱
戰斗間の狀況及損耗	
終戰後の人員變動	
作業大隊より入「ソ」迄の變動	一四三大隊藤林盤成
入「ソ」人員 隊別	
入「ソ」人員 計	
滿洲殘留	
收容所 收容所名	
收容所 所員	
收容所 死亡	
歸還人員 滿洲より	
歸還人員 「ソ」領より	
歸還人員 計	
狀況不明者數	

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

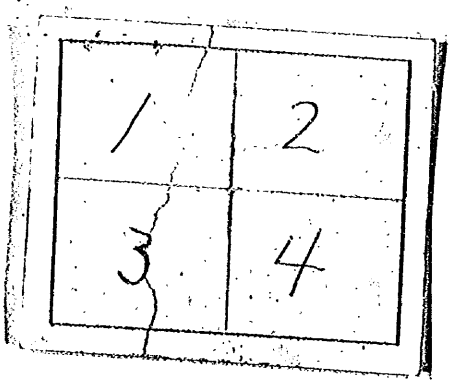
[illegible]	[illegible]	
[illegible]	[illegible]	
八、一二、[illegible]に移動	[illegible]	
八、一八、[illegible]で武装解除		
八、二〇、拉古に収容		
九月初旬海林に移動		
一〇月下旬海林出発、[illegible]の行動不明		
	119名（20.1.16編成）	

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

119名（20.1.16編成）

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A3判以上のため

上記のとおり分割撮影した事を証明する。

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第五軍第一二四師團防疫給水部

郵便所名

通稱號 遠謀一五二二一

所屬	全般概要	十九年以降 轉入	十九年以降 轉出	編制員	隊別	隊長名 (）内は先代を示す	開戰時員	駐屯地 平時	駐屯地 戰時	戰斗間の狀況及損耗	終戰後の人員變動	作業大隊より入「ソ」迄の變動	入「ソ」人員 除籍	入「ソ」人員 計	滿洲殘留	收容所名
				200名 (20.8.10編成)												

国立公文書館アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第一二四師團防疫給水部

通稱號 遠謀一五二二一

郵便所名

隊名	編制人員	別隊	隊長名（）内は先代を示す	開戰時員	駐屯地 平時	駐屯地 戰時	戰斗間の狀況及損耗	終戰後の人員變動	作業大隊より入「ソ」迄の變動	入「ソ」人員 隊別	入「ソ」人員 計	滿洲殘留	收容所 收容所名	收容所 所員	收容所 死亡	歸還人員 滿洲より	歸還人員 「ソ」領より	歸還人員 計	狀況不明者數
	200名（20.8.10編成）																		

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

200名（20.8.10編成）

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

200名（20.8.10編成）

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp